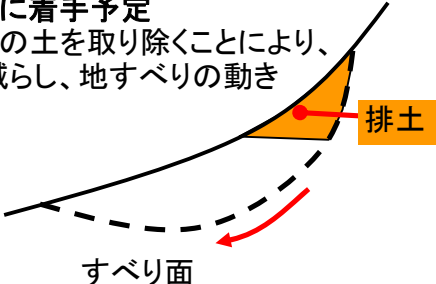


実施箇所	これまでの取組状況
①国道342号線祭時集落への迂回路 	地震により孤立化した祭時(まつるべ)地区につながる国道342号線の迂回路として国有林野内の林道(桂沢林道・東桂沢林道・板川林道)を緊急整備(6月24日より暫定供用中、供用開始から7月7日現在で、累計387台が通行利用) 工事完了
②市野々原地区(磐井川)  事業箇所への仮設道路  排土工準備作業状況	【警戒避難支援対策】 伸縮計6基設置 設置済 【応急・復旧対策】 ・亀裂に雨水が浸透するのを防止するため、ブルーシートにより地表を被覆 工事完了 ・流木による二次災害を防ぐため、倒木等进行处理 ・6月19日 民有林直轄地すべり防止災害関連緊急事業採択 ・7月4日より実施設計調査に着手 《今後の予定》 ・実施設計後に、排土工に着手予定 ※排土工: 地すべり頭部の土を取り除くことにより、地すべり自体の重みを減らし、地すべりの動きを抑える工事  〈排土イメージ図〉
③磐井川地区 上流  磐井川上流の土石流センサー(ワイヤーをわかりやすく示すため赤い線を画像に追加)	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー1基設置 設置済 【応急・復旧対策】 (東桂沢 山腹斜面の復旧対策) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日より実施設計調査に着手

実施箇所	これまでの取組状況
④産女川地区(磐井川)  産女川上流土石流センサー設置工事 (ワイヤーをわかりやすく示すため赤い線を画像に追加)  産女川上流監視カメラ画像(下)(7月13日 14:53)	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー3基設置 ・監視カメラ2機設置 ・7月12日より3台の土石流センサーのうち、2台について調整中(7/16調整終了予定) 【応急・復旧対策】 (産女川上流 土砂流出抑制対策) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日より実施設計調査に着手
⑤胆沢川地区 	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー2基設置 (尿前川・大寒沢) 【応急・復旧対策】 ・7月8日より尿前川地区において、治山ダム工に着手 ※治山ダム工: 荒廃した溪流の不安定土砂を安定させるダム工 《今後の予定》 ・尿前川の河道確保についての対策調査
現地調査等の結果  市野々原 伸縮計設置箇所	○市野々原に設置した伸縮計のデータ(7/1~7/11)分析 伸縮計を設置した6点のうち、4点については、ほとんど動きが見られません。設置場所が地すべり頭部付近の2点については、1日平均1cm程度の動きがみられますが、地すべり自体の重量による移動であって、地すべり性の移動ではないと考えられます。 ○磐井川・産女川・胆沢川 各地区に設置した土石流センサー、監視カメラからの情報では、現地の異常は確認されていません。(7月13日17:00現在) ○胆沢川上流の前川地区の現地調査(7月10日)を実施しましたが、前回に比べ、被害の拡大は確認されませんでした。